

令和5年第3回新十津川町議会定例会一般質問通告表

順位 (議席番号)	質問者	質問事項	答弁者	摘要
1 (1)	加藤 敏晃	<p><b>1 協働のまちづくりの拠点である行政区会館の機能強化について</b></p> <p>北海道の夏の暑さは年々厳しさを増しており、次年度以降も更に暑くなることが懸念される中、行政区の活動拠点であり一次避難場所にもなっている行政区会館には冷房が設置されていない。</p> <p>そのため、避難した矢先に集団で熱中症になり命を落とす、といった危険があると考えます。</p> <p>社会福祉協議会の「すまいるあっぷ事業」などで行政区会館の利用も増えているため、来年度以降の猛暑において住民の命を守るためにも、冷房を設置する必要があると考えます。</p> <p>また、行政区活動の拠点である会館の機能を強化することは、住民同士の交流を促進し、協働のまちづくりの推進にもつながることが期待される。</p> <p>以上のことから、各行政区会館に冷房を設置するべきと考えますが、町長の考えを伺う。</p>	町長	
2 (2)	工藤 健	<p><b>1 酪農学園大学との連携協定について</b></p> <p>本町には道立新十津川農業高校があり、現在、1年生29人、2年生31人、3年生11人の計71人が「農業」と「福祉」について学んでいる。農業を学べる教育環境を整備し、継続的に生徒数の確保を図るため、また、北海道初となる「産学連携ドローン教習コース」を創設するなど、ドローン研究にも注力している酪農学園大学と連携協定を締結し、農業及びまちづくりの発展につなげるべきと考えますが、町長の考えを伺う。</p>	町長	